

ソフトバレーボール大会

- 1 主 催 福井県 (福)福井県社会福祉協議会
- 2 主 管 福井県シルバーソフトバレーボール連盟
- 3 期 日 令和8年10月4日(日)
- 4 会 場 福井市南体育館
(福井市下筋生田町 33-1)

5 募集チーム数

別表2「出場選手の各市町別配分数」のとおり、6人制で合計36チームとする。
ただし、36チームに満たない場合は、36チームになるまで参加チームの多い地区より案分し決定する。

なお、チーム編成が困難な場合のみ、近隣市町との混合チームでも差支えない(各市町担当者は、昼食やバス輸送について他の市町担当課と調整すること)。

6 日 程 ※進行状況によって時間が変更する場合あり

- | | |
|------------|-------------|
| (1) 受 付 | 9:00～ 9:30 |
| (2) 総合開会式 | 9:30～10:00 |
| (3) 種目別開会式 | 10:00～10:20 |
| (3) 交流試合 | 10:20～15:20 |
| (4) 表彰式 | 15:20～15:50 |

7 競技方法(福井県シルバーソフトバレーボール競技規則による)

- (1) チーム編成は、次のとおりとする。
監督1人 選手12人以内
(監督は選手を兼任出来るが、その際は選手としても登録すること。
但し、既定の登録選手12人を超えて登録することは出来ない。)
- (2) 競技は男女混合6人制とし、コート内では女子3名以上が常時プレーすること。
- (3) 各ブロック4～5チームのリーグ戦とし、ブロックごとに優勝チームを決定する。
昼食時間は特別には設けない。
- (4) 各ブロックの組合せは主管団体が行う。
- (5) 各ブロックで勝敗が同一となったときは、次の順序で順位を決定する。
①セット率=(取得セット総数/喪失セット総数)の数値の高いチーム
②ポイント率=(総得点数/総失点数)の数値の高いチーム
③直接対戦での勝者
- (6) 没収試合があった場合は相手チームの勝ちとし、得点は15:0とする。
①参加条件に違反した場合。
②当日の受付時に選手名の変更届を提出せずに出場した場合等。
※試合途中の負傷等で継続不能の場合はそれまでに獲得した得点は生かされる。

8 競技規則

競技規則(6人制抜粋)

- (1) (公財)日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール競技規則を準用する。
- (2) 6人制は福井県シルバーソフトバレーボール競技規則を適用する。

- (3) コートはバドミントンコート（13.40m×6.10m）を利用する他、6人制はセンターラインより1.98m（線中心）にアタックラインをもうける。
 - ・前衛と後衛に別れてプレーをする。バックプレーヤーはジャンプの有無に関わらずアタックエリア内及びアタックラインを踏んでネット上端より高い位置でブロックをしたり、攻撃的な返球は出来ない。
- (4) 6人制のアウトポジション
 - ・サーブが打たれる瞬間各競技者は定められたポジションに居なければならない

（縦の関係では前衛・後衛の人が、横の関係では隣の人相互の足を超えると反則）
注：斜め移動は可能だが前後、左右ルール適用もある

選手交代

- (1) 6人制は各セット6回以内とする。（その他の交代規則は4人制と同じ）
- (2) 公式練習（プロトコールの一部：県シルバー連盟の取り扱い）
 - ・チームが初試合の場合3分間の合同練習とし、以降は3本ずつの合同練習とする。（試合数により変更となる場合がある）

その他

- (1) セット間の休憩は2分以内とする。連続して試合のチームは最大10分間とするが承諾により短縮出来る。
- (2) 相互審判で実施するが隣接するコートや壁に、ボールや選手（選手のみ含む）が入ったり、触れた瞬間にボールアウトとする。審判（主・副・線審）はボールが床に接地以前でも判断し安全に努める。
 - ※主審は原則資格者（県・市町連盟及び県シルバー連盟審判講習履修者）が担当
 - ※担当者は笛（電子笛は不使用）と秒針付き時計を持参して下さい。
- (3) スコアカードは主審が最終確認をしてサインをし、本部席へ持参する。

9 表彰

各ブロックの優勝チームに賞状および副賞、準優勝チームには賞状を贈る。

10 申込方法

別添の参加申込書に必要事項を記入のうえ、お住まいの市町高齢福祉主管課に申込む。

11 問い合わせ先

お住まいの市町高齢福祉主管課